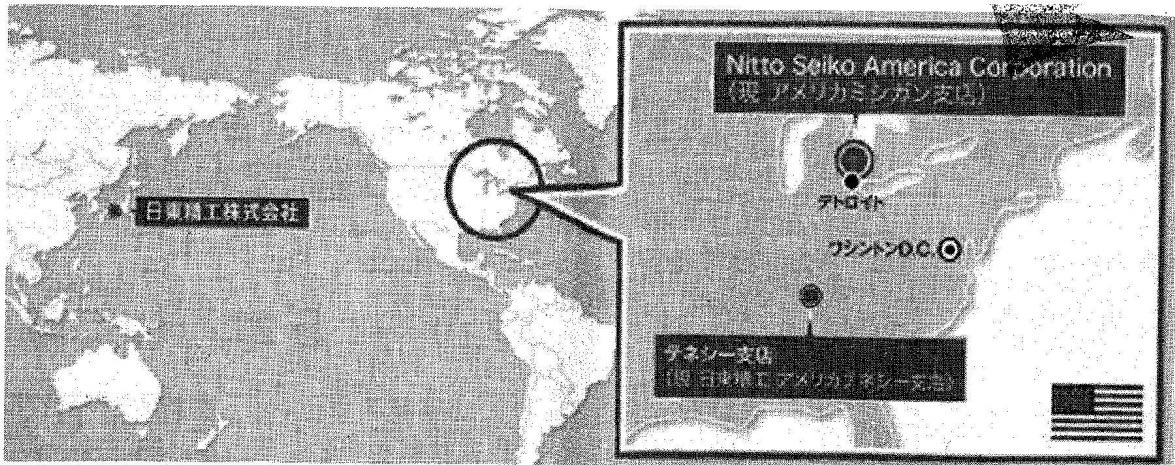


平成29年9月7日

ファスニングジャーナル(2面)に掲載されました



日東精工 米国拠点を実現法化 成長戦略の一環に

日東精工(株)(本社・工場)東京都綾部市。材木正巳社長)では、アメリカ合衆国における支店(ミシガン並びにテネシー支店)を現地法人に切り替えて、商号を「Nit to Seiko A merica Corp oration」として発足させることを発表した。同社では、今後も成長戦略の一環としてグループのグローバル展開をさらに加速させていきたいとしている。

同社はこれまで、アメリカ合衆国においてはミシガン州並びにテネシー州に支店を置き、自動ねじ締めシステムを中心に

↑日東精工の米国の拠点と日本の本社との地理関係を示す略図

同国の主力市場である自動車業界向けに営業活動を展開し、堅調に業績を伸ばしている。その実績を背景に、顧客満足度の更なる向上のためには、より迅速にかつ多様なニーズに 대응していく必要があると判断し、それを実現できる体制づくりを検討してきた。

その具体策として現地法人化をおこない、グループの総合力を活かした総合ファスニング企業の強みを活かしたモノづくり、事業領域の拡大並びにサービス向上を目指し、グループ全体の売上増強を図る方向である。

【現地法人会社概要】
▽商号「Nit to

Seiko America Corporation。▽所在地「44425 Phoenix Drive, Sterling Height s. MI 48314 U. s. A (現アメリカミシガン支店住所)」。▽代表取締役「四方亨氏」。▽営業開始日「2017年11月1日(予定)」。▽資本金「100万US\$」。▽出資比率「同社100%」。▽事業内容「自動ねじ締めシステム、洗浄装置などの一般機械器具の製造販売、工業用ファスナーの販売。▽その他「現アメリカテネシー支店は、新会社の支店として登録をおこなう。」